

「わたしたちのために救い主がお生まれになりました」

ルカ2：1－15，20

堀田修一 24・12・22

I 「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです」2：11。もし、プレゼントの包みの宛先が、私たちのためではなく、別の人の名、別の人のためであれば、そのプレゼントを頂くことはできません。本日のみことばに「あなたがたのために救い主がお生まれになりました」とある恵みに感動し感謝したいのです。何と救い主イエスは、「私たちの救いのために」お生まれになったのです！※宛名を確認する大切さの証し。

聖書に「わたしたち、あなたがたのために」と記されているみことばを確認して喜びましょう。

1. 「人の子が来た（クリスマスに救い主として世に来られた）のが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のため（私たちのため）の、贖い（罪の償いの代価）として、自分のいのちを与える（十字架で私たちの罪の為に死ぬ）ためである」マタイ20：28。
2. 「私たちがまだ罪人だったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。」ローマ5：8

II 救い主イエス様が私たちに与えて下さる恵み

1. 「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」マタイ11：28。私たち人間は、体の疲れ、心の疲れ、悩みという重荷、罪（神なんかいらぬという高慢、憎しみ、恨み、ねたみ、悪口、不正、詐欺、不品行、人を傷つける言葉、行為等）という重荷を負って人生を歩んでいます。救い主イエス様は、そのような私たちの疲れ、重荷を負って下さいます。主イエスは、私たちに、人知を超えた平安、憩、安らぎ、救い、赦し、永遠のいのちを与えて下さいます。主のもとに来て、自分の重荷を降ろしましょう。主イエスは、私たちの重荷を負って下さいます。最もつらい時に、倒れそうになる時、倒れることもありますね。その様な時に、イエス様は、私たちの重荷を負うだけではなく、ともに苦しみ、深く理解し、私たち自身を背負い支えて下さいます。※足跡の詩。

「彼らが苦しむときには、いつも主も苦しみ、主の臨在の御使いが彼らを救った。その愛とあわれみによって、主は彼らを贖い、昔からずっと彼らを背負い、担ってくださった」イザヤ63：9。

2. 「それは、信じる者がみな、人の子（救い主イエス様）にあって永遠のいのちを持つためです。神は実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのち（神に永遠に愛され神と親しく交わるいのち）を持つためである」ヨハネ3：15, 16。

3. 「神に関わる事柄について、あわれみ深い、忠実な大祭司（神と人の仲介者）となるために、イエスはすべての点で兄弟たち（私たち）と同じようにならなければなりません（神が人となりクリスマスに世に来られた）。それで民（全人類）の罪の宥め（私たちの数えきれない罪の為に主イエスが十字架で苦しみ血を流し罪の償いを成就され神の赦しを獲得された）がなされたのです。イエスは、自ら試みを受けて苦しまれたからこそ、試みられている者たち（私たち）を助ける（辛さを深く理解し、寄り添い、助け、力、励まし、慰め、愛、永遠の赦し救いを与えてくださる）ことができるのです」ヘブル2：17, 18

私たち人間は、皆、自分のこと、痛み、苦しみ、悩み、悲しみを心から理解して下さる存在を求めています。現実的には、人は、他の人の事、痛み、苦しみを完全に理解することはできません。しかし、神であるのに、人となられ、多くの苦しみ、疲れ、人々の誤解、嘲り、悪口、最後には十字架で私たちの身代わりに全人類の罪の刑罰を受け、想像を絶する霊的な苦しみ（愛する父なる神との断絶）、肉体的な激痛を、私たちの為に味わい尽くして下さいました。それ故に私たちの苦しみ、痛み、悲しみを深く、完全に理解し寄り添い、助け、救って下さるのです！何という恵みでしょう。

4. 「見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて（心の戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事（心の通う深い交わり）をし、彼（主イエスを心に迎える人）もわたしとともに食事（深い交わり）をする」黙示録3：20。※絵画の意味。

主は、私たちの心の戸を開ける力をお持ちです。しかし、信仰を強制されません。主は、私たちが、自分から進んで、心の戸を開けるのを待っておられます。

主を信じ主を心に迎えたクリスチャンも、時々、心の中の部屋の隅に主を追いやるようなことをしている時があります。そんな時、私たちは、心の真ん中に主をお迎えし交わりを深めましょう。黙示録の宛人。

まだ一度も主を信じておられない方は、強制されてではなく、自分の心の戸を開いて主イエスを信じ、主を心にお迎えしましょう。主はあなたを愛し、赦しと永遠のいのちと平安と希望と試練に耐える力を与えて下さいます。その日から本当のクリスマス（原語：キリストを礼拝する）が始まります。

応答の賛美をもって神に感謝し讃美しましょう。

教会福音讃美歌93「きよし（聖なる）この夜」

1. 聖し（聖なる）この夜 星は光、
救いの御子（神である御子が、私たちの救いの為にこの世に来られた）は 真舟の中
に
眠りたもう、いと安く
2. 聖しこの夜 御告げ受けし
牧人たちは 御子の御前に
ねかすきぬ、かしこみて。
3. 聖しこの夜 御子の笑みに、
恵み（神の救いの恵み、罪の赦し、永遠のいのち）のみ代の 明日の光（私たちの救
いの希望）
輝けり、朗らかに。